

第5学年1組 社会科学習指導案

指導者

1 単元名 自然災害とともに生きる（総時数7時間）

2 単元における探究活動とその特徴

本単元では、東日本大震災などの日本で発生した自然災害の写真や映像、地図等を基に、自然災害を自分事として捉え、災害と自然条件との関連や対策・事業の役割を考え、表現する力を養うことを目指す。身近な自然災害の発生場所や被害の様子、防災対策について調査したり、比較・分類したりする活動などを通して、国土の自然災害の状況を捉え、災害の多い日本で生きることについて考えていく。

3 児童の実態（15名）

4 単元の目標

- 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解するとともに、写真、映像、地図等の資料で調べ地図や図表にまとめることができる。 【知識及び技能】
- 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連や対策・事業の役割を考えたり、表現したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- 国土の自然災害の状況と国民生活との関連について、主体的に学習の問題を解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

5 単元について（児童の疑問を生かした単元構想）

本単元では、自然災害についての調査活動をしていく中で、自然条件と関連付けたり防災対策の役割を考えたりして学びを構成していく。単元の導入では、自然災害の発生や被害の様子について分かったことを話し合い、日本では災害が多く発生していることを理解する。展開部では、児童が経験していない東日本大震災について調査し、写真や映像等を通して、人間には太刀打ちできない自然災害の脅威とそれに負けずに自然とともに生きてきた人々を捉え、防災対策への関心を高める。その後、各災害の防災対策について班ごとに担当を決めて調べ、災害ごとの対策を比較したり分類したりしていく。終末では、調べたことを関連付けながら自然災害への対策・事業と自然条件や自分たちとの関わりについて考えていく。調査活動では、個人やペアなど学習形態を弾力的に設定し情報交換しながら学習を進められるようにする。

6 指導について（教科の見方・考え方を働かせる探究活動、ICTの活用）

本単元では、インターネットやデジタル教材を使い、写真や映像、地図等の資料を中心に様々な自然災害の状況を捉えていく。展開部では、全体で東日本大震災の様子や津波対策について調査することで、次時以降の個別の調査活動の手引きとなるようにする。また、調べたことを共有する場面では、学習支援ソフトに蓄積している写真を選び、発表に活用することで、説得力をもたせ、意欲的に話し合うことができるようにする。さらに、調査結果を表にまとめたり、複数の資料を活用したりすることで、比較・分類する力や総合して考える力を発揮して思考を整理できるようにする。

7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 ②地図帳や各種の資料で調べ、まとめている。	①災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現している。 ②様々な種類の自然災害の発生や対策を関連付けたり総合したりして、国土の自然災害の発生と自然条件との関連や、防災や減災に向けた対策や事業の役割を考え、表現している。	①我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

次	時	目標	○主な学習活動 ・内容	□主な資料	教師の支援	評価規準		
						知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第一次	1	○日本で発生した自然災害の種類や被害の様子、発生場所以に着目して、自然災害と国土の自然条件との関わりや国民生活に及ぼす影響について理解することができる。	○近年発生した自然災害や被害の様子、発生場所を調べ、自然災害の発生と国土の自然条件との関係や人々への影響について話し合う。 ・国土の地形や気候の特色によって、地震や津波、雪害など様々な自然災害が発生すること。 ・人々の生活に大きな影響を及ぼすこと。	□教 P.210 の地図資料 □資 P.112 の地図資料	・自然災害の発生と自然条件との関係に着目できるように、白地図に各災害の発生場所を記入して分布の傾向を考えるようにする。	◇知・技①		主体的に学習に取り組む態度
第二次	3	○東日本大震災について、発生場所、発生回数や時期、被害の様子に着目して、自然災害と国土の自然条件との関わりや国民生活に及ぼす影響について理解することができる。	○東日本大震災の概要や、被害の様子を調べ、自然災害の発生と国土の自然条件との関係や人々への影響について話し合う。 ・海に面している太平洋側は大規模な津波被害を受けてきたこと。 ・今まで何度も津波被害を受けてきたこと。 ・立ち上がり、自然と共に生きてきたこと。	□東日本大震災の動画 □写真「たろう観光ホテル」 「陸前高田ユースホステル」 「気仙沼向陽高校」等	・東日本大震災の被害の様子について、児童自身で調査を進めることができよう、動画や写真資料を共有フォルダに入れておく。	◇知・技①		
第二次	4	○東日本大震災などの津波災害について、防災対策が中心となって進めている対策や事業の役割について調べ理解することができる。						

5	<p>○全国各地で起こる様々な自然災害について、防災対策に着目して、国や都道府県が中心となって進めている対策や事業の役割について調べ理解することができる。</p>	<p>○津波災害以外の自然災害について一つ選ぶ、国や都道府県が中心となって進めている防災対策を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震、風水害、土砂災害・雪害・火山災害 <p>の対策として、国や県が中心となって施設の建設や仕組みづくりを計画的に行っていること。</p>	<p>□教P.217~219</p> <ul style="list-style-type: none"> □気象庁パンフレット □インターネット(映像資料) 	<p>・「どこで」「だれが」「何のために」「どんな対策を行っているか」を資料を読み取る視点とする。</p>	<p>○知・技① ◇知・技②</p>		
6 本 時	<p>○様々な自然災害への防災対策などに着目して国土の自然災害の状況を捉え、対策・事業の役割や自然条件との関連を考えたり、表現したりすることができる。</p>	<p>○前時調べた防災対策について、グループで発表し合い、防災対策の共通点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な自然災害から人々の命や生活を守るために、国や都道府県が中心となって、その土地の地形や気候などの自然条件を考えたい対策を進めていること。 	<p>□各自で集めた資料</p> <ul style="list-style-type: none"> □学習支援ソフトに共有した表 □これまでまとめてきた学習掲示物 	<p>・発表で根拠となる資料を瞬時に共有したり、グループの表を比較・分類したりできるように、ICTを活用する。</p>	<p>○思・判・表②</p>		
7 第 三 次 ま と め	<p>○これまで調べてきたことを整理して、自然災害の発生と国土の自然条件との関係、国や都道府県が中心となって進めている対策や事業の役割について考え、国土に暮らす一人としての考えをもつ。</p>	<p>○調べたことを自然災害の種類別に表に整理し、相互に事実を関連付けながら国土の自然条件や災害への対策・事業、自分たちとの関わりなどについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土では、地形や気候などの自然条件から様々な自然災害が繰り返し発生するため、国や都道府県が中心となって国民生活を守る対策や事業を進めていること。 ・国土に暮らす一人として、各自が防災・減災への意識をもち、備えておくこと。 	<p>□これまでに活用してきた資料</p> <ul style="list-style-type: none"> □ノート □学習支援ソフトに共有した表 	<p>・自然災害について総合的に「自然条件」と「対策・事業」の2つの視点から関連付けることができよう、まとめた表の見方について助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の変容を自覚できよう、初発の振り返り確認してから単元全体の振り返りを書くよう助言をする。 	<p>○知・技②</p>		<p>○態①</p>

9 本時の学習（6／7）

(1) 目標

- 様々な自然災害への防災対策などに着目して国土の自然災害の状況を捉え、対策・事業の役割や自然条件との関連を考えたり、表現したりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

(2) 学習過程

段階	学習活動と予想される児童の反応	形態	教師の主な支援と評価
つかむ・見通す (2)	<p>1 学習計画を確認し、本時の課題をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 大規模な災害からくらしを守るために、どのような対策が進められているのだろうか。</p> </div>	全	<ul style="list-style-type: none"> ○学習計画を簡潔に確認し、本時のねらいを共有する。 ○地形や気候など自然条件に応じて対策がとられていることに気付くために、自然災害の発生場所や自然条件を示した白地図を教室に掲示しておく。
取り組む (15)	<p>2 調べた対策や事業をグループごとに紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県では、県が、川のはんらんを防ぐために川の水を地下に取り込んで水量を調節する放水路をつくっている。 ・それは何でできていますか。 ・放水路をつくるのにいくらかかるのですか。 ・どうして埼玉県では川のはんらんが起りやすいのですか。 ・川の水を地下に取り込んだ後はどうなるのですか。 	グ ↑ ↓ 全	<ul style="list-style-type: none"> ○紹介の際、相手への説得力をもたせるために「どこで」「だれが」「何のために」「どのような対策を行っているか」の話す視点を示し、共有フォルダから必要な資料を提示できるようにしておく。 ○自分や相手の発表の理解を深めたり、新たな気付きを得たりできるよう、資料の注目した部分を示しながら災害への対策を説明したり、質問したりすることを促す。 ○紹介し終わったグループは、学習支援ソフト上で他のグループの調査結果を見たり、興味のあるグループの紹介を聞きに行ったりするよう声を掛ける。
深める (20)	<p>3 それぞれの対策・事業を比較・分類し、役割や自然条件との関連を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県が中心となって対策を進めている。 ・人々の命を最優先にしている。 ・起こった際に被害を最小限にするような対策を進めている。 ・その土地の地形や気候を考えた対策を進めている。 ・これまでの被害を受けて、これから起こる被害を予想した対策がとられている。 	全 ↑ ↓ グ ↑ ↓ 全	<ul style="list-style-type: none"> ○個々のタブレットにグループでまとめた表を映し書き込むことで、気付きを共有できるようにするとともに、グループでまとめた表を黒板に並べて示す。 ○対策が地形や気候と関連していることに気付くために、子どもたちの活用した写真資料を用いて役割を問い掛ける。
まとめる (5)	<p>4 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) 国や県が中心となって、その土地の地形や気候を考えながら、人々の命を守り、被害を減らすような対策を行っている。</p> </div>	個 ↓ グ	<ul style="list-style-type: none"> ○板書を活用しキーワードを確認して、本時の学習を自分の言葉でまとめることができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>様々な自然災害への防災対策などに着目して国土の自然災害の状況を捉え、対策・事業の役割や自然条件との関連を考えたり、表現したりしている。 【思考、判断、表現】(発表・ノート)</p> </div>
振り返る (3)	<p>5 本時の振り返りを行い、次時の見通しをもつ。</p>	個 ↓ 全	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の変容や理解が深まった場面、課題を達成できたことを確かめる。